

# 令和4年度「高等学校段階の病気療養中等の生徒に対するICTを活用した遠隔教育の調査研究事業 成果報告書（概要版）」

## 栃木県教育委員会

### 1. 背景・目的

平成30年度から令和2年度までの3年間、文部科学省の事業を受託し、「入院高校生への教育支援体制整備事業」として、特別支援学校の分教室のある自治医科大学附属病院と獨協医科大学病院（2つの分教室設置病院）に入院する生徒を中心に、生徒の在籍高等学校、特別支援学校分教室及び病院の連携に基づく生徒支援・連携体制の構築について調査研究を実施した。

令和3年度・令和4年度は、「入院高校生への教育支援体制充実事業」として、2つの分教室設置病院に入院する生徒に対しては、学習支援員を活用し一人一人の状況に応じた遠隔教育を含む教育支援の事例を蓄積すること、その成果を2つの分教室設置病院以外の病院や、他都道府県の病院に入院する生徒への支援に広げていくことを目的とする。

### 2. 事業の内容及び成果

#### 〈取組1〉高等学校への理解啓発

以下の機会を活用し、高等学校の管理職、教員への事業周知・理解啓発を行った。

- ・県立学校長会 県立高等学校・特別支援学校長 74名
- ・県立学校教頭事務連絡会 県立高等学校・特別支援学校教頭 83名
- ・県立学校養護教諭研修会 県立高等学校・特別支援学校 養護教諭 69名
- ・高等学校特別支援教育コーディネーター連絡協議会 県立高等学校 教諭等 67名  
→全教職員を対象に校内研修会を実施（県立高等学校60校68課程で実施済み）等  
特に、特別支援教育コーディネーター連絡協議会では、分教室設置病院で生徒支援を担当する教員が実践報告及び遠隔教育で使用するICT機器（テレプレゼンスロボットKubi）の実演を行った。

#### 〈成果〉

高等学校の理解が深まり、高等学校が生徒の入院を把握した際、県教育委員会に連絡が入るケースが増えた。

特別支援教育コーディネーターからの相談を経て、自宅療養中の生徒に、テレプレゼンスロボットKubiを活用した遠隔教育を実施できた。

#### 〈取組2〉自宅療養中の生徒への教育支援

高等学校の特別支援教育コーディネーターからの相談をきっかけに、特別支援学校のセンター的機能による学校支援（機器貸出し、機器取扱いの助言、支援に関する助言等）を経て、自宅療養中の生徒に遠隔教育を実施した。

#### 〈成果〉

Kubiは、授業だけでなく集会等の特別活動の場面でも活用され、生徒同士の交流も図られた。生徒は遠隔教育を受けた感想を「自宅療養中も授業をみんなと受けられてうれしい」と話しており、生徒の気持ちに寄り添う支援が行えた。

## 〈取組3〉 病院訪問による事業周知・協力依頼

令和3年度、「病気療養中等の生徒の教育機会や復学支援に関する実態調査」を行った県内7つのがん診療連携拠点病院に、事業周知と遠隔教育実施への協力依頼、遠隔教育実施環境調査のための訪問を行った。

〈成果〉

各病院において、実施環境の制限はあるが、高等学校から遠隔教育による入院生徒支援の申出や相談があった場合は、協力していきたいという回答を得られた。医療関係者からの意見の一部を以下に挙げる。

- ・医療関係者に教育支援の取組を周知すること同様に、入院する生徒や保護者に入院中も学習が続けられる制度があることを周知することが大切。
- ・遠隔教育の実施は無理ではないが、場所の提供やWi-Fi接続等のハード面での協力には限界がある。その時々状況に応じて可能な範囲での協力なら可能。
- ・公立、私立の別なく、必要とする生徒が教育支援を受けられる仕組みの普及に努めてほしい。

## 〈取組4〉 2つの分教室設置病院に入院する生徒へのICTを活用した遠隔授業の充実

	生徒	支援期間	支援内容等
1	県立高校（県内）1年生	1か月半	・遠隔授業 ・オンライン面談 ・自主学習の支援〔分教室〕 ・定期テストの実施 ・復学支援会議実施
3	県立高校・通信制課程（県内）3年生	6か月	・遠隔授業 ・オンライン面談 ・自主学習の支援〔病棟〕 ・定期テストの実施 ・単位認定に係るレポート提出
5	私立高校（県外）2年生	8か月	・遠隔授業 ・自主学習の支援〔病棟・分教室〕 (再入院・昨年度も支援を実施した)

〈成果〉5件の入院事例のうち、3事例で在籍高等学校が同時双方向授業を実施した。

### 3. 今後の課題

#### (1) 高等学校や医療機関との連携強化

入院が短期化する傾向にあることを踏まえ、高等学校が円滑に支援を開始できるよう、支援情報等の発信を継続するとともに、医療機関にも協力依頼を行い、連携体制の強化を図る。

#### (2) ICTを活用した遠隔教育の推進

2つの分教室設置病院や各高等学校で蓄積された遠隔教育のノウハウを活用し、今後も入院生徒への遠隔教育を推進するとともに、オンデマンド型学習に関する調査研究も必要である。

本事業は、文部科学省の委託を受け、実施したものです。

報告書の詳細は、下記URLからご覧ください。

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/tokubetu/main/006/r01/1422837\\_00003.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/main/006/r01/1422837_00003.htm)

